

## 調査計画

### 1 調査の名称（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

食品流通段階別価格形成調査（青果物生産者段階調査票）

### 2 調査の目的

生産者、集出荷団体、仲卸業者、小売業者を対象に出荷先別販売金額、各段階での仕入・販売金額等を把握し、その結果を用いて多様な流通における青果物の生産者受取価格等の価格形成や出荷先別販売金額の割合等の実態を捉えることにより、食料・農業・農村基本計画の見直し検討や食料の安定供給の確保に向けた食品流通の効率化・高度化、流通構造改革等を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲（☐個人 ☒世帯 ☐事業所 ☒企業・法人・団体 ☐地方公共団体  
☐その他）

青果物の作付け及び販売を行っている農業経営体

### 4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

約11,000経営体（母集団の大きさ 約43万経営体（直近の農林業センサス結果））

（2）報告者の選定方法（☐全数 ☒無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

直近の農林業センサス結果を基に次のとおり選定する。

- ① 調査対象品目のいずれかを作付けする経営体については、調査対象品目のうち作付面積1位である品目別及び販売金額1位の出荷先（集出荷団体、卸売市場、小売業、食品製造業、直接販売等）別に系統抽出法により選定する。

〔 調査対象品目：だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、  
ねぎ、なす、トマト、きゅうり、ピーマン、さといも、  
たまねぎ、レタス、ばれいしょ、みかん、りんご 〕

- ② 調査対象品目の作付けのない経営体については、販売金額1位の出荷先（集出荷団体、卸売市場、小売業、食品製造業、直接販売等）別に系統抽出法により選定する。

### 5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（1）報告を求める事項

ア 法人番号

イ 青果物全体の販売金額及び出荷先別販売金額割合

ウ 品目別出荷先別販売量、販売金額等

エ 消費者への直接販売の販売経費等

〔集計しない事項の有無〕 ☐無 ☒有

法人番号は、事業所母集団データベースに登録し、同データベースを充実させるために用いるものであり、集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間

ただし、上記期間で記入が困難な場合は、記入可能な直近1年間

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

農林水産省－民間事業者－報告者

(2) 調査方法

☒郵送調査 ☒オンライン調査 (☒政府統計共同利用システム ☐独自のシステム  
☐電子メール) ☐調査員調査 ☐その他 ( )

〔調査方法の概要〕

農林水産省（本省）から調査事務を受託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が、報告者に対して郵送により調査票及びオンライン調査回答用のID・パスワードを配布する。

報告者は、郵送された調査票に記入し、民間事業者に郵送提出するほか、政府統計共同利用システムを利用して回答する。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐1回限り ☐毎月 ☐四半期 ☐1年 ☐2年 ☐3年 ☒5年 ☐不定期  
☐その他 ( )

(1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：平成30年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票の配布 令和5年8月下旬

調査票の回収 令和5年10月上旬

8 集計事項

(1) 販売金額（青果物全体）

- (2) 出荷先別販売金額割合（青果物全体）
- (3) 販売数量及び販売金額（調査対象品目別・出荷先別）
- (4) 消費者への直接販売の販売経費等（青果物全体）

## 9 調査結果の公表の方法及び期日

- (1) 公表・非公表の別（☒全部公表 ☐一部非公表 ☐全部非公表）
- (2) 公表の方法（☒e-Stat ☐インターネット（e-Stat以外） ☐印刷物 ☐閲覧）  
概要及び詳細ともインターネット（農林水産省ホームページ）により公表する。（詳細については、e-Statに掲載）
- (3) 公表の期日
  - ア 概要は、令和6年6月下旬までに公表する。
  - イ 詳細は、令和6年9月下旬までに公表する。

## 10 使用する統計基準等

- ☐使用する→☐日本標準産業分類 ☐日本標準職業分類 ☐その他（ ）
- ☒使用しない

本調査は、青果物の作付け及び販売を行っている農業経営体を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に統計基準を用いる余地がないことから、いずれの統計基準も使用しない。

## 11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

- (1) 調査票情報の保存期間
  - ア 記入済み調査票：3年（令和6年4月1日から起算）
  - イ 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：永年
- (2) 保存責任者  
農林水産省大臣官房統計部長

## 調査計画

### 1 調査の名称（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

食品流通段階別価格形成調査（青果物集出荷段階調査票（A））

### 2 調査の目的

生産者、集出荷団体、仲卸業者、小売業者を対象に出荷先別販売金額、各段階での仕入・販売金額等を把握し、その結果を用いて多様な流通における青果物の生産者受取価格等の価格形成や出荷先別販売金額の割合等の実態を捉えることにより、食料・農業・農村基本計画の見直し検討や食料の安定供給の確保に向けた食品流通の効率化・高度化、流通構造改革等を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲（☐個人 ☐世帯 ☐事業所 ☒企業・法人・団体 ☐地方公共団体  
☐その他）

卸売市場等へ青果物を出荷している集出荷団体<sup>（注）</sup>

注：集出荷団体とは、生産者から青果物の販売の委託を受けて、卸売市場等へ青果物を出荷する農業協同組合等をいう。

### 4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

約500団体（母集団の大きさ 約2,000団体（直近の野菜作付面積調査・収穫量調査及び果樹収穫量調査結果））

注：報告者数及び母集団の大きさは、母集団整備後に確定する。

（2）報告者の選定方法（☐全数 ☐無作為抽出（☐全数階層あり） ☒有意抽出）

直近の野菜作付面積調査・収穫量調査及び果樹収穫量調査結果に基づき、調査対象品目の出荷量の全国計の7割を占めるまでの集出荷団体を抽出し、選定する。

調査対象品目：だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、  
ねぎ、なす、トマト、きゅうり、ピーマン、さといも、  
たまねぎ、レタス、ばれいしょ、みかん、りんご

### 5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（1）報告を求める事項

ア 法人番号

イ 調査対象品目の青果物卸売市場向けの出荷量

ウ 調査対象品目の青果物卸売市場向けの販売収入及び販売経費

エ 青果物全体の販売金額及び出荷先別販売金額割合

〔集計しない事項の有無〕 ☐無 ☒有

法人番号は、事業所母集団データベースに登録し、同データベースを充実させるために用いるものであり、集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間

ただし、上記期間で記入が困難な場合は、記入可能な直近1年間

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

農林水産省－民間事業者－報告者

(2) 調査方法

☒郵送調査 ☒オンライン調査 (☒政府統計共同利用システム ☐独自のシステム  
☐電子メール) ☐調査員調査 ☐その他 ( )

〔調査方法の概要〕

農林水産省（本省）から調査事務を受託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が、報告者に対して郵送により調査票及びオンライン調査回答用のID・パスワードを配布する。

報告者は、郵送された調査票に記入し、民間事業者に郵送提出するほか、政府統計共同利用システムを利用して回答する。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐1回限り ☐毎月 ☐四半期 ☐1年 ☐2年 ☐3年 ☒5年 ☐不定期  
☐その他 ( )

(1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：平成30年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票の配布 令和5年8月下旬

調査票の回収 令和5年10月上旬

8 集計事項

(1) 販売収入（調査対象品目別）

(2) 集出荷・販売経費（調査対象品目別）

- (3) 生産者受取収入（調査対象品目別）
- (4) 出荷量及びパレットを利用した出荷量割合（調査対象品目別）
- (5) 販売金額（青果物全体）
- (6) 出荷先別販売金額割合（青果物全体）

## 9 調査結果の公表の方法及び期日

- (1) 公表・非公表の別（☒全部公表 ☐一部非公表 ☐全部非公表）
- (2) 公表の方法（☒e-Stat ☐インターネット（e-Stat以外） ☐印刷物 ☐閲覧）  
概要及び詳細ともインターネット（農林水産省ホームページ）により公表する。（詳細については、e-Statに掲載）
- (3) 公表の期日  
ア 概要は、令和6年6月下旬までに公表する。  
イ 詳細は、令和6年9月下旬までに公表する。

## 10 使用する統計基準等

☐使用する→☐日本標準産業分類 ☐日本標準職業分類 ☐その他（ ）

☒使用しない

本調査は、卸売市場へ青果物を出荷している集出荷団体を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に統計基準を用いる余地がないことから、いずれの統計基準も使用しない。

## 11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

### (1) 調査票情報の保存期間

ア 記入済み調査票：3年（令和6年4月1日から起算）

イ 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：永年

### (2) 保存責任者

農林水産省大臣官房統計部長

## 調査計画

### 1 調査の名称（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

食品流通段階別価格形成調査（青果物集出荷段階調査票（B））

### 2 調査の目的

生産者、集出荷団体、仲卸業者、小売業者を対象に出荷先別販売金額、各段階での仕入・販売金額等を把握し、その結果を用いて多様な流通における青果物の生産者受取価格等の価格形成や出荷先別販売金額の割合等の実態を捉えることにより、食料・農業・農村基本計画の見直し検討や食料の安定供給の確保に向けた食品流通の効率化・高度化、流通構造改革等を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲（☐個人 ☐世帯 ☐事業所 ☒企業・法人・団体 ☐地方公共団体  
☐その他）

卸売市場等へ青果物を出荷している集出荷団体<sup>（注）</sup>（青果物集出荷段階調査票（A）の対象となる集出荷団体を除く。）

注：集出荷団体とは、生産者から青果物の販売の委託を受けて、卸売市場等へ青果物を出荷する農業協同組合等をいう。

### 4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

約1,600団体（母集団の大きさ 約1,600団体（直近の野菜作付面積調査・収穫量調査及び果樹収穫量調査結果））

青果物集出荷段階調査票（A）の実対象の約330団体を除く数

注：報告者数及び母集団の大きさは、母集団整備後に確定する。

（2）報告者の選定方法（☒全数 ☐無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

全国の青果物集出荷団体のうち、青果物集出荷段階調査票（A）の実対象を除く全ての集出荷団体を選定する。

### 5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（1）報告を求める事項

ア 法人番号

イ 青果物全体の販売金額及び出荷先別販売金額割合

〔集計しない事項の有無〕 ☐無 ☒有

法人番号は、事業所母集団データベースに登録し、同データベースを充実させるために用いるものであり、集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間

ただし、上記期間で記入が困難な場合は、記入可能な直近1年間

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

農林水産省－民間事業者－報告者

(2) 調査方法

☒郵送調査 ☒オンライン調査 (☒政府統計共同利用システム ☐独自のシステム  
☐電子メール) ☐調査員調査 ☐その他 ( )

〔調査方法の概要〕

農林水産省（本省）から調査事務を受託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が、報告者に対して郵送により調査票及びオンライン調査回答用のID・パスワードを配布する。

報告者は、郵送された調査票に記入し、民間事業者に郵送提出するほか、政府統計共同利用システムを利用して回答する。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐1回限り ☐毎月 ☐四半期 ☐1年 ☐2年 ☐3年 ☒5年 ☐不定期  
☐その他 ( )

(1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：平成30年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票の配布 令和5年8月下旬

調査票の回収 令和5年10月上旬

8 集計事項

(1) 販売金額（青果物全体）

(2) 出荷先別販売金額割合（青果物全体）

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表・非公表の別 (☒全部公表 ☐一部非公表 ☐全部非公表)



(2) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat以外) □印刷物 □閲覧)

概要及び詳細ともインターネット (農林水産省ホームページ) により公表する。(詳細については、e-Statに掲載)

(3) 公表の期日

ア 概要は、令和6年6月下旬までに公表する。

イ 詳細は、令和6年9月下旬までに公表する。

#### 10 使用する統計基準等

□使用する→□日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 ( )

■使用しない

本調査は、卸売市場へ青果物を出荷している集出荷団体を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に統計基準を用いる余地がないことから、いずれの統計基準も使用しない。

#### 11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 調査票情報の保存期間

ア 記入済み調査票：3年 (令和6年4月1日から起算)

イ 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：永年

(2) 保存責任者

農林水産省大臣官房統計部長

## 調査計画

### 1 調査の名称（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

食品流通段階別価格形成調査（青果物仲卸段階調査票）

### 2 調査の目的

生産者、集出荷団体、仲卸業者、小売業者を対象に出荷先別販売金額、各段階での仕入・販売金額等を把握し、その結果を用いて多様な流通における青果物の生産者受取価格等の価格形成や出荷先別販売金額の割合等の実態を捉えることにより、食料・農業・農村基本計画の見直し検討や食料の安定供給の確保に向けた食品流通の効率化・高度化、流通構造改革等を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲（☐個人 ☐世帯 ☐事業所 ☒企業・法人・団体 ☐地方公共団体  
☐その他）

卸売市場で青果物を取り扱っている仲卸業者

### 4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

200業者（母集団の大きさ 約2,200業者（農林水産省新事業・食品産業部が保有する直近の仲卸業者数））

（2）報告者の選定方法（☐全数 ☐無作為抽出（☐全数階層あり） ☒有意抽出）

ア 直近2か年の「青果物卸売市場調査（農林水産省統計部）」結果及び農林水産省新事業・食品産業部が保有する全国の地方卸売市場における青果物の卸売価額に関する情報に基づき、全国の中央及び地方卸売市場のうち、青果物の卸売価額が全国計の6割を超えるまでの上位市場を選定する。

イ 直近の経済センサスー活動調査結果及び市場開設者への情報収集により、アで選定した卸売市場に所属する青果物を取扱う仲卸業者を把握し、卸売市場別に販売金額の多い順に仲卸業者を選定する。

### 5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（1）報告を求める事項

ア 法人番号

イ 品目別の仕入金額、販売金額等

〔集計しない事項の有無〕 ☐無 ☒有

法人番号は、事業所母集団データベースに登録し、同データベースを充実させるために用いるものであり、集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間

ただし、上記期間で記入が困難な場合は、記入可能な直近1年間

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

農林水産省－民間事業者－報告者

(2) 調査方法

☒郵送調査 ☒オンライン調査 (☒政府統計共同利用システム ☐独自のシステム  
☐電子メール) ☒調査員調査 ☐その他 ( )

〔調査方法の概要〕

農林水産省（本省）から調査事務を受託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が、報告者に対して郵送により調査票及びオンライン調査回答用のID・パスワードを配布する。

報告者は、郵送された調査票に記入し、民間事業者に郵送提出するほか、政府統計共同利用システムを利用して回答する。

なお、報告者の要望など必要に応じて調査員が配布し、回収を行う。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐1回限り ☐毎月 ☐四半期 ☐1年 ☐2年 ☐3年 ☒5年 ☐不定期  
☐その他 ( )

(1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：平成30年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票の配布 令和5年8月下旬

調査票の回収 令和5年10月上旬

8 集計事項

仕入金額及び販売金額（調査対象品目別）

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表・非公表の別 (☒全部公表 ☐一部非公表 ☐全部非公表)

(2) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat以外) □印刷物 □閲覧)

概要及び詳細ともインターネット (農林水産省ホームページ) により公表する。(詳細については、e-Statに掲載)

(3) 公表の期日

ア 概要は、令和6年6月下旬までに公表する。

イ 詳細は、令和6年9月下旬までに公表する。

#### 10 使用する統計基準等

□使用する→□日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 ( )

■使用しない

本調査は、全国の卸売市場に所在し、青果物を扱う仲卸業者を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に統計基準を用いる余地がないことから、いずれの統計基準も使用しない。

#### 11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 調査票情報の保存期間

ア 記入済み調査票：3年 (令和6年4月1日から起算)

イ 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：永年

(2) 保存責任者

農林水産省大臣官房統計部長

## 調査計画

### 1 調査の名称（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

食品流通段階別価格形成調査（青果物小売段階調査票）

### 2 調査の目的

生産者、集出荷団体、仲卸業者、小売業者を対象に出荷先別販売金額、各段階での仕入・販売金額等を把握し、その結果を用いて多様な流通における青果物の生産者受取価格等の価格形成や出荷先別販売金額の割合等の実態を捉えることにより、食料・農業・農村基本計画の見直し検討や食料の安定供給の確保に向けた食品流通の効率化・高度化、流通構造改革等を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲（☐個人 ☐世帯 ☒事業所 ☒企業・法人・団体 ☐地方公共団体  
☐その他）

青果物を販売している小売業者

### 4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

約900事業所（母集団の大きさ 約45,000事業所（直近の経済センサスー活動調査結果））

注：報告者数及び母集団の大きさは、母集団整備後に確定する。

（2）報告者の選定方法（☐全数 ☒無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

直近の経済センサスー活動調査結果に基づき、青果物を販売する小売業者を青果物の販売金額階層別に系統抽出法で選定する。

### 5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（1）報告を求める事項

ア 法人番号

イ 青果物全体の仕入金額

ウ 品目別の仕入金額及び販売金額

エ 品目別の仕入先別仕入金額割合

〔集計しない事項の有無〕 ☐無 ☒有

法人番号は、事業所母集団データベースに登録し、同データベースを充実させるた

めに用いるものであり、集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間

ただし、上記期間で記入が困難な場合は、記入可能な直近1年間

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

農林水産省－民間事業者－報告者

(2) 調査方法

☒ 郵送調査 ☒ オンライン調査 (☒ 政府統計共同利用システム ☐ 独自のシステム  
☐ 電子メール) ☐ 調査員調査 ☐ その他 ( )

〔調査方法の概要〕

農林水産省（本省）から調査事務を受託した民間事業者（以下「民間事業者」という。）が、報告者に対して郵送により調査票及びオンライン調査回答用のID・パスワードを配布する。

報告者は、郵送された調査票に記入し、民間事業者に郵送提出するほか、政府統計共同利用システムを利用して回答する。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐ 1回限り ☐ 毎月 ☐ 四半期 ☐ 1年 ☐ 2年 ☐ 3年 ☒ 5年 ☐ 不定期  
☐ その他 ( )

(1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：平成30年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査票の配布 令和5年8月下旬

調査票の回収 令和5年10月上旬

8 集計事項

(1) 仕入金額（青果物全体）

(2) 仕入金額及び販売金額（調査対象品目別）

(3) 仕入先別仕入金額割合（調査対象品目別）

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表・非公表の別 (☒ 全部公表 ☐ 一部非公表 ☐ 全部非公表)

(2) 公表の方法 (☒ e-Stat ☐ インターネット (e-Stat以外) ☐ 印刷物 ☐ 閲覧)

概要及び詳細ともインターネット（農林水産省ホームページ）により公表する。（詳細については、e-Statに掲載）

（３）公表の期日

ア 概要は、令和６年６月下旬までに公表する。

イ 詳細は、令和６年９月下旬までに公表する。

10 使用する統計基準等

☐使用する→☐日本標準産業分類 ☐日本標準職業分類 ☐その他（ ）

☒使用しない

本調査は、青果物を販売している小売業者を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に統計基準を用いる余地がないことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

（１）調査票情報の保存期間

ア 記入済み調査票：３年（令和６年４月１日から起算）

イ 調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：永年

（２）保存責任者

農林水産省大臣官房統計部長

## 報告者数の考え方

### I 青果物生産者段階調査

#### 1 母集団について

##### (1) 調査対象

青果物を作付け及び販売する農業経営体

##### (2) フレーム

直近の農林業センサス結果

##### (3) 母集団の大きさ

青果物生産者 427,952経営体

#### 2 標本設計

- (1) 直近の2020年農林業センサス結果を基に「青果物の作付け及び販売を行っている農業経営体」を抽出し、作付面積の最も大きな品目により、青果物（みかん、りんご以外）、みかん、りんごの3区分の部分母集団を作成。それぞれの部分母集団を、作付面積の大きさに応じてさらに規模階層に区分。

青果物生産者段階調査 階層別母集団(2020年農林業センサス結果を基に抽出)

単位: 経営体								
全体	1	2	3	4	5	6	7	計
	0.5ha未満	0.5～1ha	1～2ha	2～3ha	3～5ha	5～10ha	10ha以上	
	242,949	83,134	54,331	18,909	13,006	9,340	6,283	
青果物 (みかん、りんご以外)	1	2	3	4	5	6	7	計
	0.5ha未満	0.5～1ha	1～2ha	2～3ha	3～5ha	5～10ha	10ha以上	
	223,921	70,529	43,921	15,089	11,337	8,922	6,283	
みかん	1	2	3	4	5	6		計
	0.5ha未満	0.5～1ha	1～2ha	2～3ha	3～5ha	5ha以上		
	9,985	6,291	4,722	1,894	893	233		
りんご	1	2	3	4	5	6		計
	0.5ha未満	0.5～1ha	1～2ha	2～3ha	3～5ha	5ha以上		
	9,043	6,314	5,688	1,926	776	185		

- (2) (1)の部分母集団ごとに「1経営体当たりの青果物全体の販売金額」を指標として、目標精度を5%に設定し、規模階層別の標本配分を最適配分として、全体の必要標本数(3,788)を算出。

- (3) なお、必要標本数の算出において、規模階層ごとの「1経営体当たりの青果物全体の販売金額」の平均及び分散については、平成30年度に実施した前回調査結果及び前回母集団(2015年農林業センサス結果)により求めた値を用いた。



## 【青果物（みかん、りんご以外）】

【青果物】階層ごとの必要標本数の計算								
階層の番号	1	2	3	4	5	6	7	計
(過年次データ)								
階層の大きさ	223921	70529	43921	15089	11337	8922	6283	380002
標本サイズ	2806	1526	1742	963	920	799	566	—
標本データ合計	7462009200	10526378800	17402688800	14557778800	19556448400	31530188800	41627105200	—
標本データ数	2806	1526	1742	963	920	799	566	—
平均値(推定値)	2659304.775	6898020.183	9990062.457	15117111.94	21257009.13	39462063.58	73546122.26	7378965.941
不偏分散	1.29254E+14	4.29656E+14	4.39965E+14	5.24469E+14	2.67042E+15	1.88362E+16	2.66454E+16	—
データ総計(推定値)	5.95474E+11	4.8651E+11	4.38774E+11	2.28102E+11	2.40991E+11	3.52081E+11	4.6209E+11	2.80402E+12
(差替後最新データ)								
階層の大きさ	223921	70529	43921	15089	11337	8922	6283	380002
(目標精度)	0.05							
○比例配分の場合								
$Ni^2 \cdot \sigma_i^2 / (Ni-1)$	2.89427E+19	3.03036E+19	1.93241E+19	7.91423E+18	3.02772E+19	1.68076E+20	1.6744E+20	4.52277E+20
必要標本数	5036.4	1586.3	987.9	339.4	255.0	200.7	141.3	8546.9
○最適配分の場合								
$Ni^2 \cdot \sigma_i^2 / (Ni-1)$	2.89427E+19	3.03036E+19	1.93241E+19	7.91423E+18	3.02772E+19	1.68076E+20	1.6744E+20	4.52277E+20
$Ni \cdot \sigma_i \cdot \alpha_i$	2.54576E+12	1.46195E+12	9.21268E+11	3.45569E+11	5.85878E+11	1.22457E+12	1.02568E+12	8.11067E+12
必要標本数	1026.8	589.7	371.6	139.4	236.3	493.9	413.7	3271.4

## 【みかん】

【みかん】階層ごとの必要標本数の計算								
階層の番号	1	2	3	4	5	6	7	計
(過年次データ)								
階層の大きさ	9985	6291	4722	1894	893	233		24018
標本サイズ	52	58	64	82	66	29		—
標本データ合計	84601600	208892000	462160000	923448000	1170980000	979210000		—
標本データ数	52	58	64	82	66	29		—
平均値(推定値)	1626953.846	3601586.207	7221250	11261560.98	17742121.21	33765862.07		4914731.121
不偏分散	9.23676E+12	1.33052E+13	2.38138E+13	5.23908E+13	1.1742E+14	1.11008E+15		—
データ総計(推定値)	16245134154	22657578828	34098742500	21329396488	15843714242	7867445862	0	1.18042E+11
(差替後最新データ)								
階層の大きさ	9985	6291	4722	1894	893	233		24018
(目標精度)	0.05							
○比例配分の場合								
$Ni^2 \cdot \sigma_i^2 / (Ni-1)$	9.22383E+16	8.37163E+16	1.12473E+17	9.92807E+16	1.04974E+17	2.59763E+17	0	7.52444E+17
必要標本数	211.1	133.0	99.8	40.0	18.9	4.9	0.0	507.8
○最適配分の場合								
$Ni^2 \cdot \sigma_i^2 / (Ni-1)$	9.22383E+16	8.37163E+16	1.12473E+17	9.92807E+16	1.04974E+17	2.59763E+17	0	7.52444E+17
$Ni \cdot \sigma_i \cdot \alpha_i$	30347969692	22949058904	23045511778	13712680607	9682018410	7779764108	0	1.07517E+11
必要標本数	91.7	69.3	69.6	41.4	29.3	23.5	0.0	324.8

## 【りんご】

【りんご】階層ごとの必要標本数の計算								
階層の番号	1	2	3	4	5	6	7	計
(過年次データ)								
階層の大きさ	9043	6314	5688	1926	776	185		23932
標本サイズ	52	82	111	77	60	19		—
標本データ合計	75732800	352400400	941374800	801506400	1112815600	537600000		—
標本データ数	52	82	111	77	60	19		—
平均値(推定値)	1456400	4297565.854	8480854.054	10409174.03	18546926.67	28294736.84		5357645.18
不偏分散	1.63599E+12	1.49883E+13	2.50839E+13	2.19305E+13	1.95945E+14	7.2386E+14		—
データ総計(推定値)	13170225200	27134830800	48239097859	20048069174	14392415093	5234526316		1.28219E+11
(差替後最新データ)								
階層の大きさ	9043	6314	5688	1926	776	185		23932
(目標精度)	0.05							
○比例配分の場合								
$Ni^2 \cdot \sigma_i^2 / (Ni-1)$	1.47959E+16	9.46511E+16	1.42702E+17	4.22601E+16	1.5225E+17	1.34642E+17	0	5.81301E+17
必要標本数	126.1	88.1	79.3	26.9	10.8	2.6	0.0	333.8
○最適配分の場合								
$Ni^2 \cdot \sigma_i^2 / (Ni-1)$	1.47959E+16	9.46511E+16	1.42702E+17	4.22601E+16	1.5225E+17	1.34642E+17	0	5.81301E+17
$Ni \cdot \sigma_i \cdot \alpha_i$	11567175814	24446413620	28490166857	9021805657	10869484995	4990866430	0	89385913373
必要標本数	24.8	52.4	61.1	19.3	23.3	10.7	0.0	191.7

階層の番号	1	2	3	4	5	6	7	計
(全体)								
階層の大きさ	242949.0	83134.0	54331.0	18909.0	13006.0	9340.0	6283.0	427952.0
平均値	2572101.733	6451065.45	9591418.776	14251391.81	20853978.31	39098768.1	73546122.26	7127628.78
総計	624889543984.4	536302875148.7	521111373531.0	269479567752.4	271228641847.5	365182503433.9	462090286168.9	3050282991866.7
○比例配分の場合								
必要標本数	5373.6	1807.4	1167.0	406.3	284.7	208.2	141.3	9388.5
誤差分数	126319041633644000000.0	132758828580625000000.0	85513938766989800000.0	35154332265600100000.0	133149849285954000000.0	732624893368102000000.0	727707219025514000000.0	1973228102926430000000.0
○最適配分の場合								
必要標本数	1143.3	711.4	502.3	200.2	288.9	528.1	413.7	3787.9
誤差分数	6298035047027370000000.0	3613085716990080000000.0	2285416123067080000000.0	857452130387414000000.0	143029468848293000000.0	287248314267374000000.0	237551418072485000000.0	1973228102926430000000.0
(青果物)								
階層の大きさ	223921	70529	43921	15089	11337	8922	6283	380002
平均値	2659304.775	6898020.183	9990062.457	15117111.94	21257009.13	39462063.58	73546122.26	7378965.941
総計	5.85474E+11	4.8651E+11	4.38774E+11	2.28102E+11	2.4091E+11	3.52081E+11	4.6209E+11	2.80402E+12
不偏分散	1.29234E+14	4.2956E+14	4.3996E+14	5.24469E+14	2.67042E+15	1.8638E+16	2.86454E+16	-
○比例配分の場合								
必要標本数	5038.4	1586.3	987.9	339.4	255.0	200.7	141.3	8546.9
誤差分数	1257874064629100000000.0	131702036870736000000.0	83984277798170800000.0	34395910718062000000.0	131587400168437000000.0	730470334195406000000.0	727707219025514000000.0	1965634585240240000000.0
○最適配分の場合								
必要標本数	1026.8	589.7	371.6	139.4	236.3	493.9	413.7	3271.4
誤差分数	6282703247153240000000.0	359426849063611000000.0	226475813004469000000.0	84884791529396300000.0	142227867735034000000.0	286797521119916000000.0	237551418072485000000.0	1965634585240240000000.0
(みかん)								
階層の大きさ	9985	6291	4722	1894	893	233	0	24018
平均値	1626953.846	3901586.207	7221250	11261580.98	17742121.21	33765862.07	0	4814731.121
総計	162451341154	22657578828	34089742500	21329396488	15843714242	7867445862	0	1.18042E+11
不偏分散	9.23676E+12	1.33052E+13	2.38138E+13	5.23908E+13	1.1742E+14	1.11008E+15	0	-
○比例配分の場合								
必要標本数	211.1	133.0	99.8	40.0	18.9	4.9	0.0	507.8
誤差分数	4270218126155760000.0	3875689012452160000.0	5206976012177990000.0	4596249463288630000.0	4859808931316840000.0	12025849990635500000.0	0.0	34834791536036800000.0
○最適配分の場合								
必要標本数	91.7	69.3	69.6	41.4	29.3	23.5	0.0	324.8
誤差分数	995268782286690000.0	7512231730212560000.0	751540054149628000.0	443950279677934000.0	309969407881581000.0	2315274566446150000.0	0.0	34834791536036800000.0
(りんご)								
階層の大きさ	9043	6314	5688	1926	776	185	0	23932
平均値	1456400	4297565.854	9480854.054	10409174.03	18546926.67	28294736.84	0	6550220.344
総計	13170225200	27134830800	48239097859	20048069174	14392415093	5234526316	0	3.2594E+12
不偏分散	1.63599E+12	1.49883E+13	2.50838E+13	2.19305E+13	1.95945E+14	7.2386E+14	0	-
○比例配分の場合								
必要標本数	126.1	88.1	79.3	26.9	10.8	2.6	0.0	333.8
誤差分数	104613358118280000.0	6692223086440090000.0	10089633676011900000.0	298796601208204000.0	1076468223385920000.0	9519741736325430000.0	0.0	41100385325901500000.0
○最適配分の場合								
必要標本数	24.8	52.4	61.1	19.3	23.3	10.7	0.0	191.7
誤差分数	5379112051844290000.0	1130499453455520000.0	1314259248089120000.0	416471229667170000.0	491631705380771000.0	219265690813137000.0	0.0	41100385325901500000.0

(4) 回収率を35%に設定し、回収率を考慮した必要標本数（10,823）を算出。

〔全体の必要標本数3,788／35%≒10,823（経営体）〕

〔必要な標本の大きさの算出式〕

$$n_i = \frac{\left( \sum_{k=1}^L N_k \hat{\sigma}_k \alpha_k \right)^2}{\mu^2 N^2 C^2 + \sum_{k=1}^L \frac{N_k^2 \hat{\sigma}_k^2}{N_k - 1}} \cdot \frac{N_i \hat{\sigma}_i \alpha_i}{\sum_{k=1}^L N_k \hat{\sigma}_k \alpha_k} \quad \text{但し、} \alpha_i = \sqrt{\frac{N_i}{N_i - 1}}$$

$L$  : 階層の数

$N$  : 母集団の大きさ

$N_i$  : 第  $i$  階層の大きさ

$\mu$  : 母平均

$n_i$  : 第  $i$  階層の標本の大きさ

$\hat{\sigma}_i$  : 第  $i$  階層の分散の推定値

$C$  : 目標精度

## Ⅱ 青果物集出荷団体調査（Ａ）

令和元年産野菜作付面積調査・収穫量調査及び令和２年産果樹収穫量調査結果に基づき、調査対象品目の出荷量の７割を占めるまでの集出荷団体（489団体）。

## Ⅲ 青果物集出荷団体調査（Ｂ）

全国の青果物集出荷団体（1,950団体）のうち、青果物集出荷団体（Ａ）の実対象（333団体）を除く全ての集出荷団体（1,617団体）。

## Ⅳ 青果物仲卸段階調査

直近２か年の「青果物卸売市場調査（農林水産省統計部）」結果及び農林水産省新事業・食品産業部が保有する全国の地方卸売市場における青果物の卸売価額に関する情報に基づき、全国の中央及び地方卸売市場のうち、青果物の卸売価額が全国計の６割を超えるまでの上位市場を選定し、該当する卸売市場に所属する200業者。

## Ⅴ 青果物小売段階調査

### １ 母集団について

#### （１）調査対象

青果物を販売する小売業者

#### （２）フレーム

直近の経済センサス結果

#### （３）母集団の大きさ

青果物小売業者 45,056事業所

### ２ 標本設計

（１）直近の平成28年経済センサスー活動調査結果を基に「青果物を販売している小売業者」を抽出して母集団とし、青果物の販売金額の大きさに応じて販売金額階層に区分。

（２）「１業者当たりの青果物全体の仕入金額」を指標として、目標精度を５％に設定し、販売金額階層別の標本配分を最適配分として、全体の必要標本数（363）を算出。

（３）なお、必要標本数の算出において、販売金額階層ごとの「１業者当たりの青果物全体の仕入金額」の平均及び分散については、平成30年度に実施した前回調査結果及び前回母集団（平成28年経済センサスー活動調査結果）により求めた値を用いた。

小売段階調査 階層ごとの必要標本数の計算								
階層の番号	1	2	3	4	5	6	7	計
	500万円未満	500万～2000万	2000万～5000万	5000万～1億	1億～2億	2億～5億	5億円以上	
(過年次データ)								
階層の大きさ	9895	10223	6777	4938	6460	5711	1052	45056
標本サイズ	34	117	172	279	159	170	118	—
標本データ合計	684280800	1382813600	4805437200	17939946800	19938326400	41406668800	53849267600	—
標本データ数	34	117	172	279	159	170	118	—
平均値(推定値)	20125905.88	11818919.66	27938588.37	64300884.59	125398279.2	243568640	456349725.4	77858698.82
不偏分散	8.17941E+15	1.1319E+14	1.99622E+14	6.83851E+15	1.04367E+16	3.08487E+16	3.22802E+16	—
データ総計(推定値)	1.99146E+11	1.20825E+11	1.8934E+11	3.17518E+11	8.10073E+11	1.39102E+12	4.8008E+11	3.508E+12
(差替後最新データ)								
階層の大きさ	9895	10223	6777	4938	6460	5711	1052	45056
(目標精度)								
0.05								
○比例配分の場合								
$Ni^2 \cdot \sigma_i^2 / (Ni - 1)$	8.09434E+19	1.15726E+18	1.35304E+18	3.37754E+19	6.74314E+19	1.76208E+20	3.39911E+19	3.94859E+20
必要標本数	125.4	129.5	85.9	62.6	81.9	72.4	13.3	570.9
○最適配分の場合								
$Ni^2 \cdot \sigma_i^2 / (Ni - 1)$	8.09434E+19	1.15726E+18	1.35304E+18	3.37754E+19	6.74314E+19	1.76208E+20	3.39911E+19	3.94859E+20
$Ni \cdot \sigma_i \cdot \alpha_i$	8.9495E+11	1.08769E+11	95757605281	4.08391E+11	6.60005E+11	1.00316E+12	1.89099E+11	3.36013E+12
必要標本数	96.5	11.7	10.3	44.0	71.2	108.2	20.4	362.3

(4) 回収率を40%に設定し、回収率を考慮した必要標本数（908）を算出。

〔全体の必要標本数363／40%≒908（事業所）〕

〔必要な標本の大きさの算出式〕

$$n_i = \frac{\left( \sum_{k=1}^L N_k \hat{\sigma}_k \alpha_k \right)^2}{\mu^2 N^2 C^2 + \sum_{k=1}^L \frac{N_k^2 \hat{\sigma}_k^2}{N_k - 1}} \cdot \frac{N_i \hat{\sigma}_i \alpha_i}{\sum_{k=1}^L N_k \hat{\sigma}_k \alpha_k} \quad \text{但し、} \alpha_i = \sqrt{\frac{N_i}{N_i - 1}}$$

$L$  : 階層の数

$N$  : 母集団の大きさ

$N_i$  : 第  $i$  階層の大きさ

$\mu$  : 母平均

$n_i$  : 第  $i$  階層の標本の大きさ

$\hat{\sigma}_i$  : 第  $i$  階層の分散の推定値

$C$  : 目標精度

## 集計・推定方法

## 1 集計・推定方法

## (1) 青果物生産者段階調査

青果物全体の販売金額（総計及び出荷先別）、調査対象品目の出荷先別販売数量及び販売金額の推定値を次の式により算出。

〈推定値の計算式〉

$$T = \sum_{i=1}^L \frac{N_i}{n_i} \sum_{j=1}^{n_i} x_{ij}$$

$T$  :  $x$  の総計の推定値

$L$  : 階層区分の数

$i$  : 階層を表す添字

$j$  : 標本経営体を表す添字

$N_i$  :  $i$  階層の母集団の大きさ

$n_i$  :  $i$  階層の調査結果が得られた標本経営体数

$x_{ij}$  :  $i$  階層の調査結果が得られた、 $j$  番目の標本経営体に係る  $x$  の調査値

## (2) 青果物集出荷段階調査（A）

ア 1 集出荷団体当たり平均

単純平均により算出。

イ 調査対象品目100kg当たり

$$\frac{1 \text{ 集出荷団体当たり平均の調査対象品目の経費等（千円）}}{1 \text{ 集出荷団体当たり平均の調査対象品目の出荷量（t）}} \times 100$$

ウ 青果物全体の販売金額割合

全ての集出荷団体を対象として調査を実施するものの、有効回収率が100%とならない場合は、青果物集出荷段階調査（B）の結果と合わせ青果物全体の販売金額の推定値を 1 (1) と同様の推定式により算出。

## (3) 青果物集出荷段階調査（B）

全ての集出荷団体を対象として調査を実施するものの、有効回収率が100%とならない場合は、青果物集出荷段階調査（A）の結果と合わせ青果物全体の販売金額の推定値を 1 (1) と同様の推定式により算出。

(4) 青果物仲卸段階調査

1 業者当たりの平均は、単純平均により算出。

(5) 青果物小売段階調査

青果物全体の仕入金額、調査対象品目の仕入金額及び販売金額、調査対象品目の仕入先別仕入金額の推定値を 1 (1) と同様の推定式により算出。

2 調査票の欠測値推定について

疑義照会の実施後においても回答に一部欠測がある場合、必要に応じて同一規模階層の平均値を代入する等の方法により欠測値を推定。

（参考） 食品流通段階別価格形成調査（青果物調査）（平成29年度）における調査票別の回収実績

単位：経営体、団体又は業者

	調査対象者数	有効回収数 （有効回収率（％））	うちオンライン （有効回収率（％））
青果物生産者段階調査票	28,932	10,074 (34.8)	444 (1.5)
青果物集出荷段階調査票（Ａ）	320	298 (93.1)	16 (5.0)
青果物集出荷段階調査票（Ｂ）	1,919	1,106 (57.6)	75 (3.9)
青果物仲卸段階調査票	100	90 (90.0)	1 (1.0)
青果物小売段階調査票	1,334	1,096 (82.2)	99 (7.4)
計	32,605	12,664 (38.8)	635 (1.9)